



古河市地域公共交通計画 ダイジェスト版

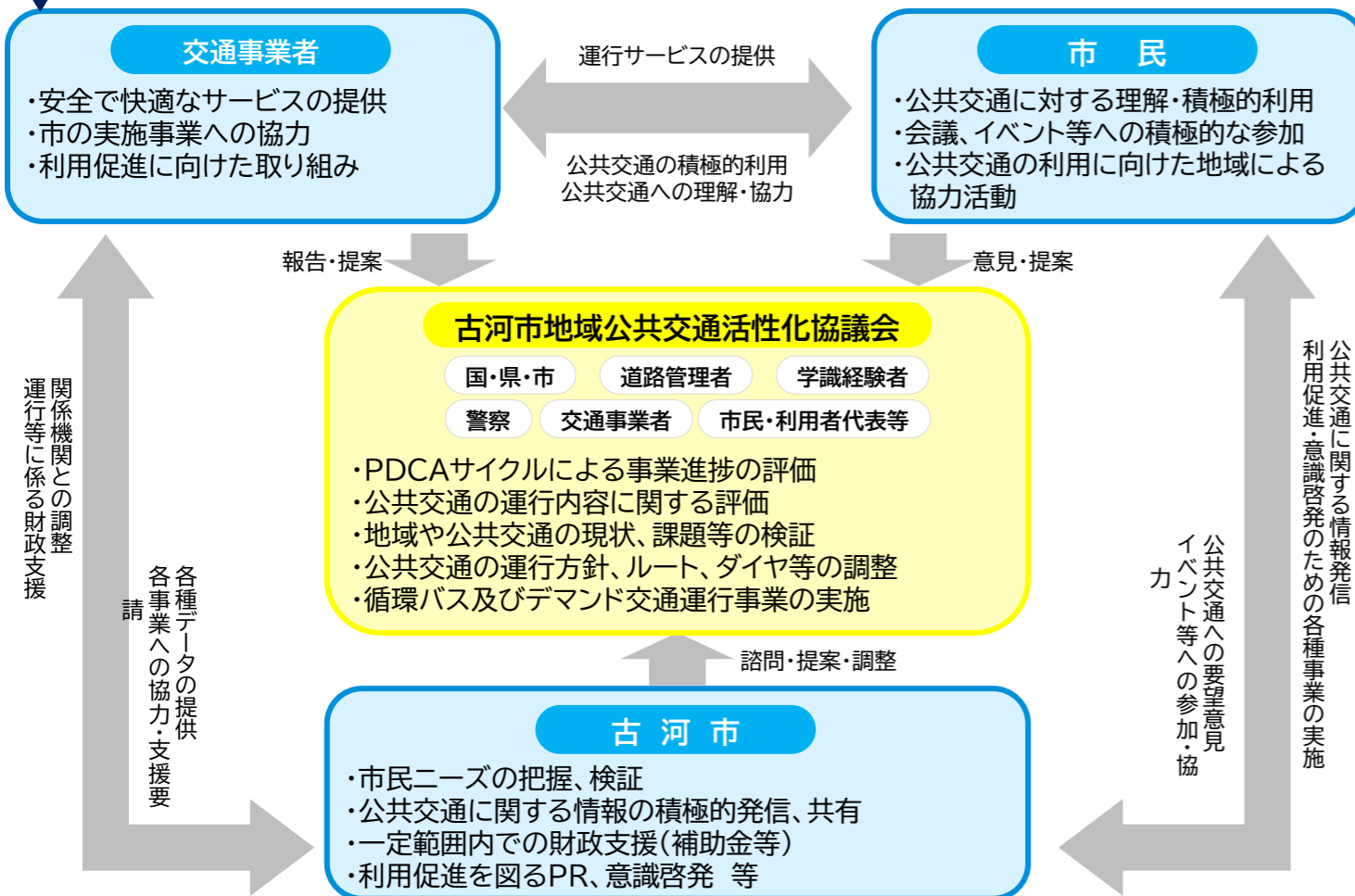
【計画期間：令和6年度～令和10年度】

令和6年3月 古河市

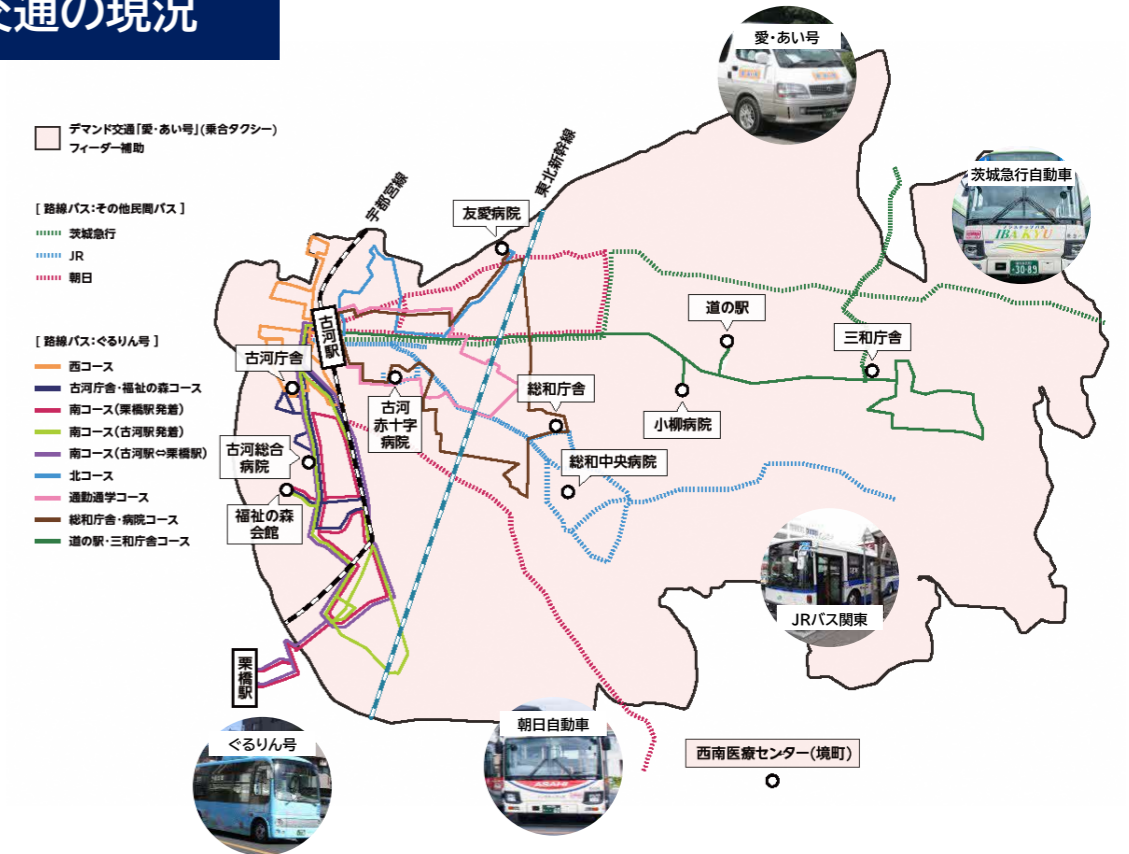
計画の評価指標

目標	評価指標	現状 R4	目標値 R10	
1. 広域及び市内移動を支える持続可能な公共交通ネットワークの構築	公共交通の満足度	公共交通に対する市民等の満足度を向上させます。	24.9%	30.0%
	公共交通利用率	市民等の公共交通の利用頻度を向上させます。	8.8%	10.0%
2. 関係者の連携による公共交通の事業性や機能性の向上	鉄道・路線バス・タクシー等の1日平均利用者数	公共交通利用者数を維持します。	12,941人	維持
	停留所数	乗客数の多い学校、医療機関、商業施設近辺にバスの停留所を設置します。	301箇所	305箇所
3. 公共交通の事業持続性の向上	公的資金が投入されている公共交通事業の収支率	公共交通運営効率を改善します。	27.8%	28.0%
	運転免許返納者数	高齢者等向けに運転免許返納者数を拡大します。	439人	増加
4. 生活様式の変化に対応する公共交通の構築	新技術の導入件数	MaaSやAIなど、ICTを活用したシステムを導入します。	2件	4件

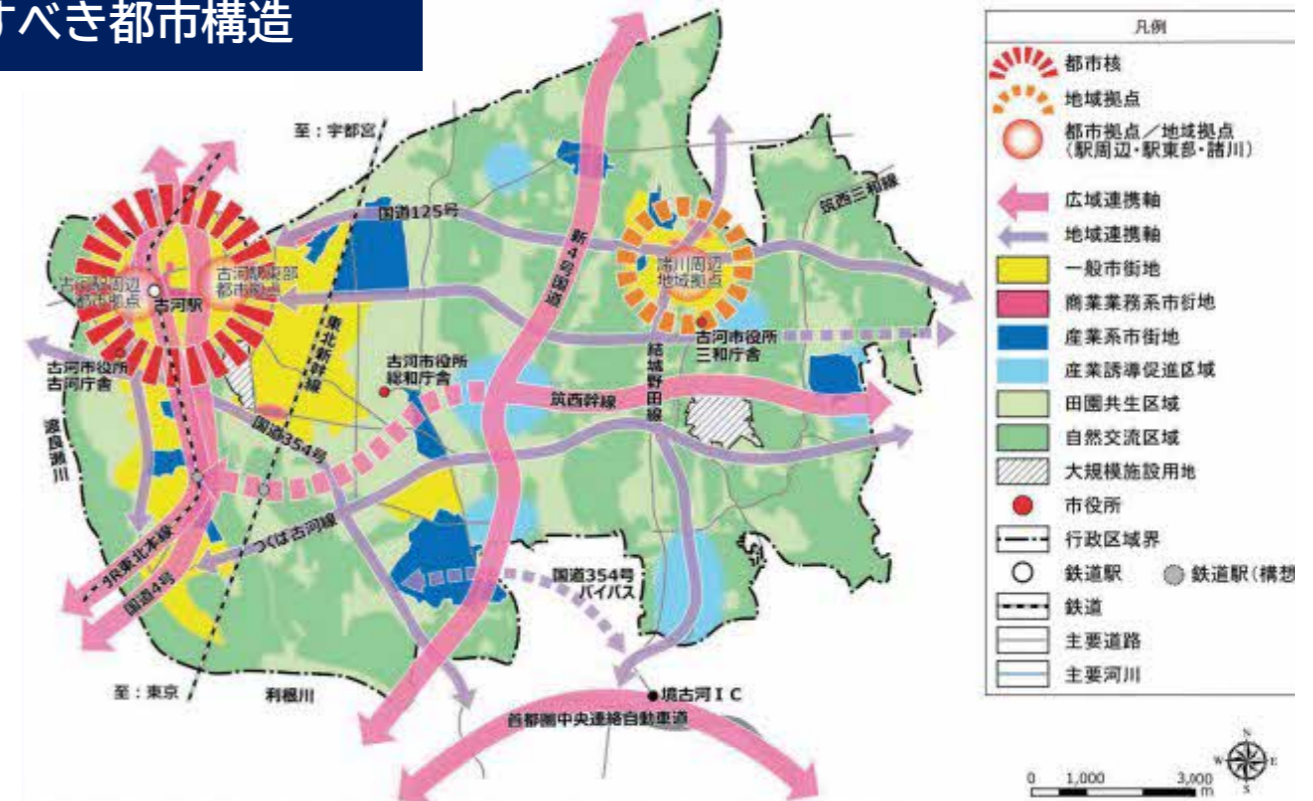
実施体制



古河市公共交通の現況



目指すべき都市構造



古河市公共交通の課題と実施事業

基本理念

安全かつ持続可能な交通環境により、魅力的で利便性の高い古河(まち)をつくる

地域公共交通が対応すべき課題

- 持続可能な地域交通網の構築
- 利用者ニーズに寄り添ったサービスの維持・確保
- 少子高齢化に対応した多様な公共交通ネットワークの構築
- 交通施策とまちづくり施策の連携強化
- 利用促進に向けた効果的なPR・情報発信

基本方針

方針1

地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成

- 循環バス及びデマンド交通の再編、運行ルートの改善
- 地域間幹線系統の維持、利用促進と収益率(適正な運賃改定)の改善
- 交通事業者のバス・タクシー運転手の確保・育成の支援
- EV車両、ユニバーサルデザインなど環境に配慮した車両の導入検討
- 朝晩の送迎時間帯の渋滞解消、ドライバー間のトラブル減少への環境構築の促進

方針2

利便性の向上と利用促進の取組による地域公共交通の活性化

- 広域移動の機能を担うJR東北本線と周辺市町を連絡する路線バスの利便性向上・活性化、市域内外から駅や拠点施設へのアクセシビリティの強化、利便性の高い公共交通ネットワークの構築
- 各種サービスの改善・導入、ユニバーサルデザインや情報発信の充実など市民誰もがわかりやすく移動しやすい地域公共交通の提供
- 時間、目的に合わせ、複数の交通手段を組み合わせ利用しやすい環境の構築
- 新しいデジタル技術を活用した利便性の向上、デジタルデバイド解消への取組実施

方針3

関係者・市民協働によるまちづくりと一体となった公共交通の構築

- 行政・地域住民・交通事業者の適正な役割分担のもと、三者が協働・連携に努め、将来にわたり維持し続けられる地域の公共交通を守り育てる意識の醸成
- 地域の企業や医療機関をはじめ地域が持つ交通リソースの最適化への検討、地域協働による持続可能な公共交通の構築

実施事業

- 事業1 バス・タクシー運転手の確保・育成
- 事業2 地域間幹線系統及び路線バスの維持、利用促進と収益率の改善
- 事業3 古河駅前広場の環境整備及び交通結節機能(地域拠点)の強化
- 事業4 (仮)南古河駅実現に向けた取組推進
- 事業5 カーボンニュートラル推進に向けた取組
- 事業6 運賃収入以外の収入確保
- 事業7 循環バスの再編・運行形態の見直し等
- 事業8 デマンド交通のサービス充実
- 事業9 市民の公共交通利用促進を高める取組
- 事業10 AI配車システムの運用などデジタル技術の活用促進
- 事業11 福祉施策との連携
- 事業12 サイクル&バスライド、パーク&ライドの促進
- 事業13 新たなモビリティ導入など「交通DX」を活用した将来のあり方の検討